

No.26-05 2026年3月1日

発行:目黒地区労働組合協議会/教官部

【HP】<http://meguro-rokyo.jp/>

メール:[union@r05.itscom.net](mailto:union@r05.itscom.net)



## すべての仲間の賃上げめざす26春闘を！

### めぐろ区民集会 2026&パレード

2月22日(日)の午後、めぐろ区民集実行委員会主催による、「めぐろ区民集会 2026～平和と社会保障を守る区民パレード」は、南部合唱団によるオープニング演奏で開会。中小企業センター2階会場は、約90名の参加者でいっぱい。集会では東京保険医協会事務局長の小形(おがた)さんによる、「安心して医療が受けられる社会を実現するために～病院の7割・診療所の4割が赤字、さらに病床が狙われる中で～」講演が行われました。講演要旨は以下の通りです。



- 1: 病院・診療所の現状: 全国の病院 7割以上赤字。昨年より悪化。
- 2: 東京は、地価・人件費上昇で、都の調査でも、7割赤字。これらに対して、東京都は、国の動向を見て、と言う態度だったが、さすがに11月、国に緊急提言を出した。  
(\*労協 HP 収録)

当面の問題としては、高額医療費凍結は解凍され、今後順次改悪されそう。OCT 類似薬の拡大では、保険適応は確保されたが、患者の負担は増えていく・・・など。

質疑では維新議員より「保険料逃れ問セクター経費削減が至上命題にされている。マイナ保険証も、カードリーダーのメーカーが限られ、儲けの公共事業になっている」との発言がありました。

その後、参加された区議会議員3名が紹介され、「大会宣言」「閉会挨拶」のあと、土建目黒支部書記協の発声による「団結ガンバロー！」で、集会は終了となりました。

集会後は、目黒駅前から三田住区センターまで、参加者によるパレード。目黒労協は「春闘決起集会」と位置づけ「大幅賃上げを」などプラスター掲げ行進しました。

(目黒労協/機関紙編集部)



# 地域いっしょに宣伝行動

## ケア労働者の大幅賃上げを！学大宣伝行動

2月21日(土)のお昼前、「ケア労働者の処遇改善 アクション2026 学芸大学駅宣伝」が、目黒労協・目黒区労連・目黒社保協の共催で取り组まれました。ケア労働者の平均年収は、保育士で全産業平均の77%(2025 厚労省)、そして80%の施設で人手不足。医療・介護・福祉・保育などのケア労働者の賃上げに「公定価格」の引上げが必要と、国民春闘共闘の呼びかけで、全都で宣伝行動。目黒で取り组まれたこの日の行動には、20人が参加し、ティッシュ入りチラシ400組を配布。マイク宣伝付きで受け取り良好、1人20個はあつという間、宣伝行動は30分強で終わりました。

(目黒労協/機関紙編集部)



## 目黒労協 2026春闘宣伝



2月9日(月)、今年初の目黒労協春闘宣伝。「9の日宣伝」を終了後、そのまま目黒労協メンバーにて、「春闘だ！賃上げ要求をしよう、最低賃金を上げよう」とマイク宣伝・チラシ配布。総選挙開票の翌日、先に行った9条宣伝に比べて、受け取りの良さにびっくり。一袋20組があつという間。賃上げ・最低賃金引き上げが求められている！（目黒ユニオン/通信員）

## 土建目黒支部の公共工事現場宣伝に参加して

1月27日(火)、中目黒スクエアの改修工事現場前にて、「公共工事現場」で支払われる「下限報酬額」などを宣伝。夕方の仕事終わりに、帰宅する職人さんに声をかけ、公共工事現場であることの周知や、組合・東京土建の紹介なども。帰りを急ぐ職人さんたちに、話を聞いてもらうだけでも大変なのに、アンケートに協力をお願いして会話の糸口をさぐる。帰宅する職人さんに寄り添い、100~200mくらい寄り添って歩くなど、頭が下がります。常に組合員拡大を勝ち取っている土建さんの、極意にふれた思いがしました。そのまま、職場で同じに出来るとは思いませんが、こういう気構えや気迫は見習うところ大です。(労協機関紙/執行委員会)



## 26年のスタート 新春のつどい

1月は加盟組合や友誼団体でも、「旗開き」や「新年会」が行われており、目黒労協からもそれ

ぞれに参加させていただいています。そういう各団体の「新春のつどい」を、それぞれ報告致します。(目黒労協/機関紙編集部)

## 大東通信機労組の新年会

大東通信機労働組合では、2026年1月16日に組合員相互の親睦を深め、2026年も一致団結して仕事に前向きに取り組んでいくために新年会を開催しました。

当日はおいしい食事を囲みながら日頃の業務の話題や近況報告、職場に関する意見交換などが出来ました。普段は部署ごとに分かれて働く組合員同士が交流する貴重な機会となり、会場は終始和やかな雰囲気にも包まれ、今年一年の連帯を深める良いスタートとなりました。2026年は、拠点移動などと大東通信機の大きな転換期となり、従業員全員の一致団結が必要となり、今後も交流会を通じて、各組合での対話を重視し、現場での困りごとなどを聞き取り会社へ伝えて、労働環境をより良くしていきたいと思えます。(大東通信機労組より報告)



## 東京争議団共闘会議 新春のつどい



2/11(水)祝日、13:00～東京労働会館(ラパスホール)で東京争議団共闘会議の「2026 新春のつどい」に、労協役員2人で参加してきました。

オープニングでは、「コールラパス(合唱)」があり、「新春のつどい」が始まりました。乾杯を目黒労協・井上さん(元目黒電波争議、東京争議団サポーター)が行いました。

第二部では、東京争議団事務局長のマジック他出し物があり盛り上がりました。目黒地区で争議団はなくなりましたがまだまだほかで争議が起きています。我々も争議団支援、その他活動を頑張りましょう！(代表参加した労協執行委員)

## 国民救援会目黒支部 2026 新年会

2月14日(土)、土建目黒会館で国民救援会目黒支部の新年会が行われ、31人が参加されました。国民救援会は「人権侵害を許さず、その犠牲者を救援する」ことを目的とした団体です。

新年会は正午より開始され、人権侵害された「えん罪被害者」を支援する団体から、再審開始を求める訴えがなされました。被害者は90才を超えていたり、残念ながら獄中死された方もいらっしゃいます。この日は事件を扱ったニュース映像も上映され、一度決定された判決をひっくり返すことの大変さを、しみじみ痛感しました。いま被害者や支援者が求めているのは「再審法の改正」で、えん罪事件の再審開始が早期に実現することです。資本や権力など大きいものと闘うところは、労働組合と共通しています。できれば、今後も微力ながら支援できればと感じた1日でした。(参加した目黒労協執行委員)



# 2026年 国民春闘総決起集会

目黒からも多数が参加し 700 人が結集



1月28日(水)の夜、なかのZEROホールで「2026年国民春闘総決起集会」が行われ、700名の組合員が参加しました。働いても働いても・・・賃金が上がらない状況のもと、高市首相に聞かせたい集会が行われました。日本医労連、全労連女性部、東京地評女性センターから「女性」の訴えがあり、全農協労連よりは若者たちの活動報告と組合員拡大が。他にも自治労連、地評北ブロック、東京土建などステージから訴えがありました。春闘は地域・産別組合との連携で闘う必要があります、参加者全員の「団結ガンバロー！」で閉じました。

## 目黒地域からも30人を超える参加者

目黒から、東京土建目黒支部・目黒区職労はそれぞれ10人を超える組合員が、のぼり旗を掲げて参加。他にもJMITU目黒地域支部やめぐろユニオンよりも参加が確認できました。また自治労連の「決意表明」では、目黒区公立保育園の民間調理問題をテーマに、「公共を取りもどそう！」と訴え、目黒区職労より委員長・書記長をはじめ、組合員が勢ぞろいしました。目黒の中でも「改善すべき課題」としてとらえ、地域の共同の力で取り組みたいと感じました。私たちの組合参加は2名でしたが、ぜひもっと多くの仲間にも参加してほしいと感じられる集会でした。(JMITU目黒地域支部より参加の組合員)



## 首切り・雇止めを許すな 争議支援行動

めぐろユニオンでは日頃より争議を支援していますが、今回はその支援活動(争議)の一部を紹介させていただきます。

### □CU 東京文京支部 退職強要争議

1月28日 東京地裁614、CU文京退職金裁判を傍聴支援。

### □全国税・原口さん解雇許すな

1月29日 原口解雇争議、東京地裁第2回弁論を傍聴支援。

### □会計年度任用職員最前線

2月1日、東京公務公共一般労組と東ゼン労組共催のシンポにZOOM参加。

### □公務公共一般35周年記念シンポ「分断される社会と労働組合」

1月31日(土)14:00～ラパスホール(大塚)で開催。目黒労協HPに収録しました。

### □明乳争議団座り込み行動

1月22日、2月16日と、京橋の明治乳業本社前で、40年を超える明治乳業人権侵害賃金差別争議を話し合いで解決を！と昼1時間座り込み行動が行われました。(目黒労協/機関紙編集部)

